

教育支援だよりは、先生方と支援教育に関する「こんなこと良かった!」「役に立った!」といった情報共有を目的に発行しています。瀬谷支援学校の取り組みを多くの方に知ってもらうためのおたよりです。

～ 自 傷 行 為 の ナ ゾ を 解 く ! ? ～

—その2—

- ★ 行動の前後の状況を3点セットで考え、行動の意味を考える手法を、頭文字をとって**ABC分析**と呼ぶ、というのが前回までのお話。

- ★ 行動には、必ず意味（機能＝役割）があります。

- ★ 特に問題行動とされるものには、以下の4つの意味（機能＝役割）があるとされています。

1) 注目（自分に目を向けてもらいたい）

・かわってほしい ・声をかけてほしい ・一緒にいてほしい …といった意味

2) 逃避（イヤな場面から逃げたい）

・この勉強はやりたくない ・この活動はしたくない ・アイツのいる所にはいたくない …といった意味

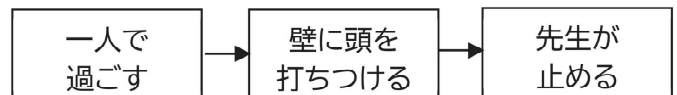
3) 要求（モノが「ほしい」／活動が「したい」）

・おかしが食べたい ・絵を描きたい ・グラウンドで自転車が乗りたい …といった意味

4) 自己刺激（その行動そのものが本人にとって心地よい）

・ロッキング（常同行動） ・特定部位を叩く ・特定の音（声）を出し続ける …といった行動が気持ちいい

- ★ 4を別として、1～3までの問題行動とは、誤ったコミュニケーション手段としての機能＝役割があるという図式が見えてきます。さて、それではAさんの自傷行為の意味は？



- A) 一人にいるのがイヤで、自傷をすれば先生が来てくれるから…ということは「**注目**」？
- B) その場面がイヤで、自傷すれば、先生が別の場所へ連れていってくれるかも…ということは「**逃避**」？
- C) もしかしたら、おなかが減ってるとか、おなかが痛いとか…ということは「**要求**」？
- D) 一人にいる時に始めるのは、先生に見つかるかと止められちゃうから…ということは「**自己刺激**」？

- ★ さあて、どれもホントのような気がしてきましたよ。行動の前後があつて、行動に意味があることを知っても、この自傷行為自体の意味がわかんないとイミがない…。

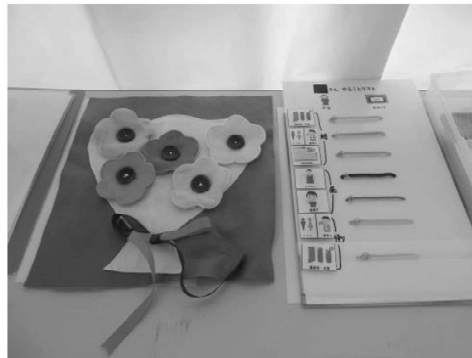
- ★ こうした行動の意味を推測することのできるものが「動機付けアセスメント尺度」（略称 **MAS**）です。（つづく）

*今年度は、藤田副校長にコラムをお願いしました。どうぞ、よろしくお願いします。

夏季公開講座ご報告

教材教具展示相談会および、8月23日開催の夏季公開講座へのご参加、ありがとうございます。猛暑の中、多くの方に足を運んでいただきました。公開講座では、淑徳大学非常勤講師の高瀬初美先生に「学校が、保護者・地域と連携して推進していく“自立と社会参加”を目指した性教育」についてお話しいただきました。「性教育」というと何を教えれば…、と悩む方も多いと思いますが、小学生段階でも、すぐに始められる内容のお話から思春期以降のおはなしまで幅広く学ぶ場となり、2学期以降の活力を養うことができました。高瀬先生、ありがとうございました。

教材教具展示相談会にも地域の先生方、保護者の方々に参加していただきました。教材を通じて、瀬谷支援学校の取り組みを知っていただくと共に、特別支援教育について考えるきっかけとなれば幸いです。皆様どうもありがとうございました。



『子どもが変わる 保護者が変わる ワークシートから始める特別支援教育のための性教育』
松浦 賢長【編著】/千葉県立柏特別支援学校【著】ジアース教育新社

講師の高瀬先生の著書です！

瀬谷支援学校では、各校の先生方向けに教材教具展示室の見学を実施しています。ご希望の方は、まずお電話でご連絡ください。（瀬谷支援学校 連携支援室直通 045-302-5374）